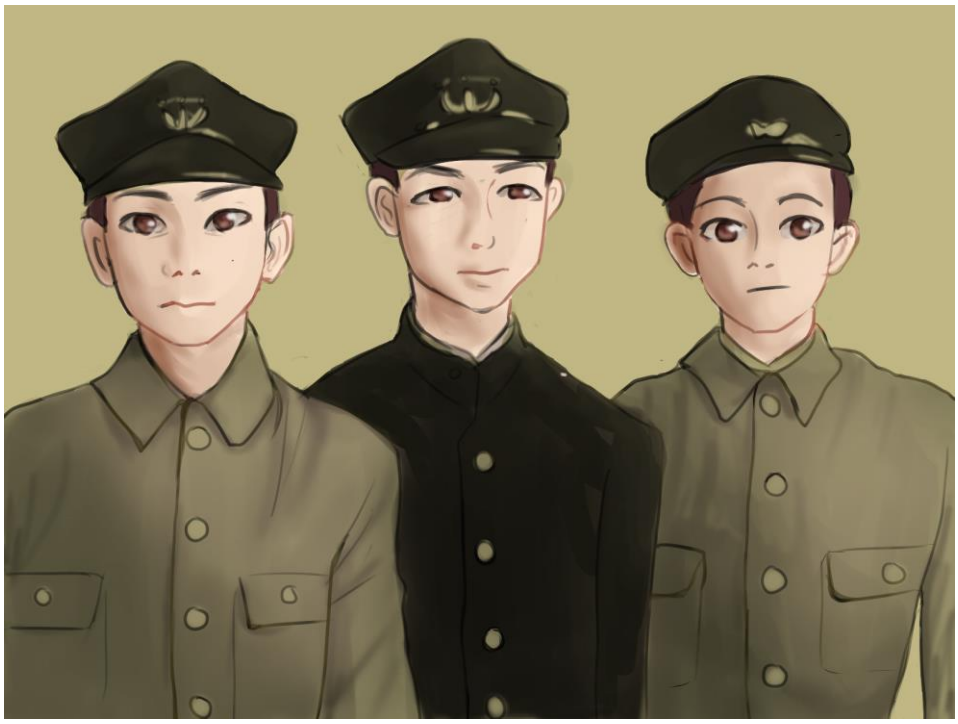
ヒロシマにいた友だち



文：檜山 純子

協力：中越 尚美／シティ・ハジャ・ビディン

絵：アイナ・ヒヤマ・ザズリ

1941年12月、日本軍がイギリス領マラヤを攻撃しました。そして、1942年2月にマラヤを占領しました。それから、マラヤの学校で日本語の授業が始まりました。

マラヤから3人が日本に行って勉強する南方特別留学生に選ばれました。ラザクさんは今のマレーシア、ペナン州出身、ユソフさんはクランタン州出身、そして、オマールさんはジョホール州出身です。

日本軍 Japanese army イギリス領マラヤUnfederated Malay States
攻撃しました attacked 占領しました occupied
南方特別留学生 Special Students from Southeast Asia
選ばれ chosen 今の current 出身です be from
ラザク Haji Abdul Razak Bin Abdul Hamid ユソフ Nik Yusof bin Nik Ali オマール Syed Omar bin Mohamad Alsagoff

ユソフさんとオマールさんは1943年から東京で日本語を勉強しました。そして、1944年から広島高等師範学校*1で勉強しました。

ラザクさんは1944年から東京で日本語を勉強し、1945年から広島文理科大学*2で勉強を始めました。

広島は東京より空襲が少なく、静かな町でした。

---

*1 今の広島大学 教育学部faculty of education, Hiroshima University

*2 今の広島大学大学院 graduate Schools of Hiroshima University

空襲 air strike

広島には9人の南方特別留学生がいました。今のインドネシア、マレーシア、ブルネイなどから来ていました。中国などからの留学生もいました。

日本は戦争中でしたから、食べ物があまりありませんでしたが、日本人は時々、留学生を誘っていっしょにうちでごはんを食べました。

留学生たちは食事の後、ブンガワン・ソロやラサ・サヤンゲなどふるさとの歌を歌いました。

戦争中 during the war　誘って(誘います)invite

ブンガワン・ソロ Bengawan Solo（インドネシア・ジャワ島のソロ川の歌　/song of Solo River in Java, Indonesia）

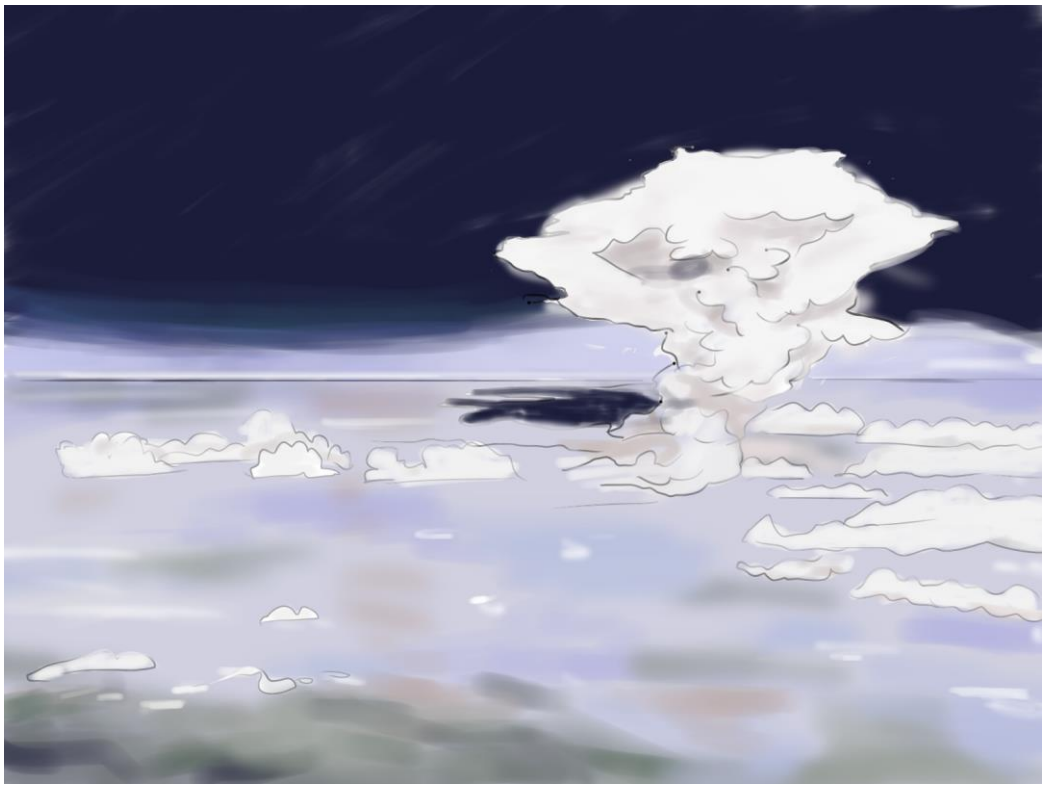
ラサ・サヤンゲ Rasa Sayange（「愛しい思い」というマレー語の歌 Malay language song with title meaning "feeling fondness"）

1945年8月６日。

明るい太陽、青い空。とても天気のよい朝でした。新しい一日が始まり、ラザクさんは授業に行きました。

午前8時15分、とても強い光がピカーッと、空から落ちてきました。

「稲妻だ!」ラザクさんは言いました。



太陽 The sun　光 the light　ピカーッと flushing

から落ちてきました　It has fallen from / been dropped

稲妻 lightning

　それは、稲妻ではありませんでした。そして、地震のように地面が揺れ、壁が傾き、建物が壊れました。

「ああ、アッラーの神よ！」

　ラザクさんは壊れた建物の中に埋もれました。

　まわりは真っ暗でした。ラザクさんは小さい光を見つけ、やっと外にでることができました。

地震のように like an earthquake　地面が揺れ (ます) ground shakes
壁 wall　傾き（ます）lean　壊れました has broken
アッラーの神　God, Allah　埋もれました he has been buried
真っ暗 pitch dark　見つけ（ます）find　やっと at last

外(そと)にはどこにも建物(たてもの)がありませんでした。まわりは、がれきだらけでした。人(ひと)や動物(どうぶつ)の焼(や)け焦(こ)げた死体(したい)もありました。

ラザク(らざく)さんも頭(あたま)から血(ち)が出(で)ていました。でも他(ほか)の留学生(りゅうがくせい)といっしょに、がれきの下(した)の人(ひと)を一生懸命(いっしょうけんめい)助(たす)けました。

がれきだらけ full of rubble 焼(や)け焦(こ)げた死体(したい) burned corpse

血(ち)が出(で)ていました was bleeding 他(ほか)の other

一生懸命(いっしょうけんめい) with one's utmost effort 助(たす)けました saved

広島は大きな火事でした。とても熱いので、多くの人が川の中に飛び込みました。ラザクさんも川に飛び込みました。

とても恐ろしい爆弾でした。一つの爆弾でたくさんの人が亡くなりました。ユソフさんは8月７日に亡くなったことが、後で分かりました。

8月15日に戦争が終わりました。留学生はふるさとに帰ることになり、東京へ行きました。

火事 **fire**　飛び込みました **jumped into** 爆弾 **bomb**

亡くなりました **passed away** 恐ろしい **tragic, horrible**

オマールさんは東京へ行く途中、9月３日に京都の病院で亡くなりました。ユソフさんもオマールさんもまだ19歳でした。

ラザクさんは1945年9月にふるさとに帰ることができました。そして、その後、1977年に日本語教育の専門家になりました。ラザクさんは、いつも平和を願っていました。2013年に88歳で亡くなるまでいつも、人々にヒロシマの話、恐ろしい爆弾の話をしました。

ヒロシマでいっしょに勉強した友だち、ユソフさんとオマールさんのことは決して忘れませんでした。

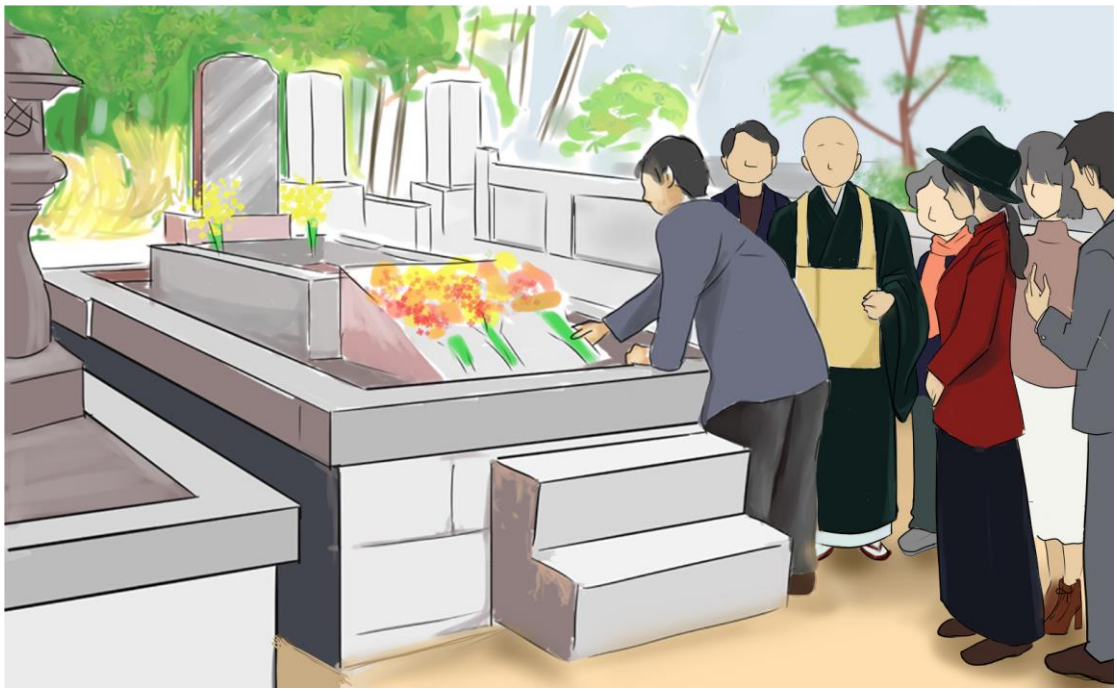
途中 on the way 専門家 expert 平和を願って hoping for peace
人々 people 続けました kept on 決して忘れません never forget

あとがき

(Postscript)

日本の人々は、ユソフさんとオマールさんのためにイスラム式のお墓をつくりました。

人々は二人が亡くなった日に、毎年お墓の前でお祈りをしています。二人の事を忘れないように、そして平和を願って……。



～のために for イスラム式 Islamic style 墓 grave つくります make/build

忘れないように not to forget 平和を願って hoping for peace

お祈り pray

資料のページ

ユソフさんのお墓は「光禅寺」にあります。

（住所：広島市佐伯区五日市二丁目1番1号）

The grave of Nik Yusof is located at “Kozen-ji Temple” 2-1-1, Itsukaichi, Saeki Ward, Hiroshima

マレーシア、コタバル市訪問団　2019年10月19日

写真提供：青木圭子（南方特別留学生を語り伝える会）

A group of visitors from Kota Bharu,Malaysia in front of the grave of Nik Yusof. November 2019　Photo: Ms. Keiko Aoki

Reference

中國新聞ヒロシマ平和メディアセンター

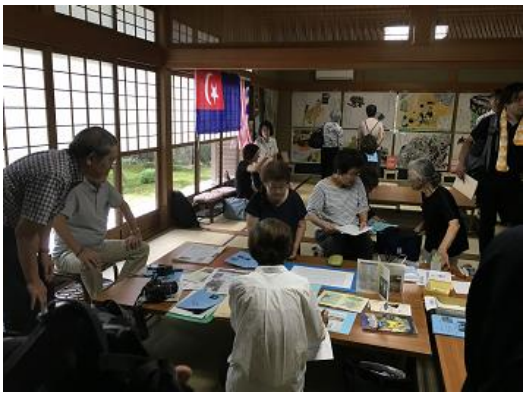
http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=94251　(in Japanese)

http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=94462　(in English)

オマールさんのお墓は「圓光寺」にあります。

（住所：京都市左京区一乗寺小谷町13）

The grave of Syed Omar is located in “Enko-ji Temple”, 13 Ichijoji Kotanicho, Sakyo Ward, Kyoto, 606-8147, Japan.



京都市の圓光寺に眠る被爆南方特別留学生サイド・オマール展

（2019年8月20日～9月3日）

Exhibition for Syed Omar had held from 20 August 2019 until 3 September 2019 at Enko-ji Temple

サイド・オマールさん法要（2019 年 9 月 3 日）
Memorial service had been held on 3rd September 2019 at Enko-ji temple

写真提供：中越尚美（平和の大切さを伝える日本語教材をつくる会）
Photo: Ms. Naomi Nakagoshi

参考資料：
わが心のヒロシマ―マラヤから来た南方特別留学生 1991
オスマン・プティ (著), 小野沢 純 (翻訳), 田中 和夫 (翻訳), 山下 勝男 (翻訳)
南方特別留学生ラザクの「戦後」―広島・マレーシア・ヒロシマ 2012 宇高 雄志 (著)
ユソフさん Remembering Nik 2019 青木圭子 Keiko Aoki
Debu Hiroshima 1992 Othman Puteh
Razak-sensei 2015 Kalthom Husain,Aida Nasirah Abudullah, Hanipah Hussin
広島平和記念資料館　平和データベース（最終閲覧日 2020 年 3 月 23 日）
Hiroshima Peace Memorial Museum Peace Database　http://www.pcf.city.hiroshima.jp/database/